

長久手会場 企業パビリオンゾーンA

ワンダーサーカス電力館

建築面積：2,501.93㎡
 延床面積：3,708.86㎡
 構造・規模：鉄骨造、地上2階
 基本設計：博報堂
 実施設計：KAJIMA DESIGN
 施工：建築／鹿島・永楽共同企業体
 設備／トーエネック・シーテック・関電工・きんでん・
 北陸電気工事共同企業体
 工期：平成16年1月～平成16年12月



昼間の外景：子供たちの絵を30枚飾ったパビリオンの外壁



セラミックメタルハライドランプ投光器による壁面照明で、子供たちの絵を鮮やかに再現



正面側壁面に1列に配置した投光器



正面側壁面用投光器



奥側の壁面用投光器



屋根付屋外待ちスペースの照明

テーマは「Powerful Imagination 想像力は豊かな未来を創る活力」。子供の絵のパビリオン

館内では「地球と人と夢、このすばらしい世界」を表現した8つのシーンを電車型ライドに乗って身近な自然のすばらしさを紹介。

外壁には全国の小学生から応募があった約6,000点の絵から選ばれた30枚の絵が飾られています。夏期は入場待ちの来館者のために、屋根付屋外の300㎡のスペースと前庭のイベントステージ周辺においてドライミスト発生装置（霧の噴射）で温度低下を図っている他、前庭の舗装には木曽川などのダム流木チップや堆積砂を路面材として活用し、照り返しを緩和しています。

外壁全体に飾った30枚の絵の色彩を均斉度のよい明かりで鮮やかに再現

子供たちの夢と想像力あふれる30枚の絵は、ポリエステル製テント地にインクジェット印刷で絵画ユニットにして外壁に飾られており、この絵画ユニットに対して夜間でも鮮やかに色彩が再現できるよう150Wセラミックメタルハライドランプ（色温度4,200K）

投光器による壁面照明が行われています。この投光器は明かりムラを少なくするため、現場にて照射角調整可能な可変反射板を使用し、上部リフレクター付フードを設けて外部への光漏れをなくし、無駄な光をカットして前面に効率よく集光しています。

正面側2面の壁面には狭角形と広角形を併用し、ひさし上部に壁面から3.15m離して等間隔で横1列に配置。折り込んだ奥側の壁面には外壁隅からと地上に設けた照明柱に狭角・中角・広角形を併用した投光器をそれぞれ縦1列にして配置し、両方向からの照射で壁面の絵を鮮やかに再現しています。

屋根付き屋外入場待ちスペースの照明は、18本ある柱に130Wハロゲンランプ可変ルーバ付小形スポットライトを4台ずつ設置し、天井照射による間接光で優しい雰囲気のある明るさを確保しています。

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
屋外	投光器	HT-1544XP (K) (改)	53	150Wセラミックメタルハライドランプ
		HT-1544WF (K) (改)	21	
待ちスペース	小形スポットライト	QT-1500F (K)	—	130Wハロゲンランプ